

第13回 武庫川流域圏ネットワーク 講演会と総会 結果概要

- 日 時 : 2023年6月3日(土)
- 会 場 : さらら仁川 ホール(阪急仁川駅前)
- 講 演 : 「行動生態毒性学の展望-人間が作りだした化学物質が動物の行動に変異をもたらす-」

1. なぜ、行動生態毒性学に注目するか
自己紹介を兼ねて
2. 化学物質により動物の行動に変化が見られた例
昆虫類、魚類、鳥類、哺乳類、ヒト
3. 今後の課題
行動生態毒性学の研究手法
4. 子孫に負の遺産をもたらさないために我々は何ができるか、何をすべきか

■ 講 師 : 川合真一郎氏
神戸女学院大学元学長



スジイルカによる有機塩素化合物の蓄積

スジイルカを用いることの意義

1. 年齢査定法が確立しており、長寿命であることから汚染の履歴がわかる。
2. 生態学的挙動が解明されている。
3. 哺乳類であることから、得られた知見を人間に適用できる部分がある。

スジイルカ
Stenella coeruleo-alba

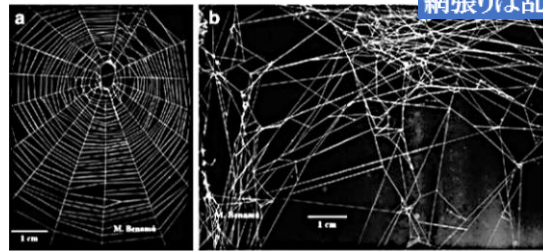


除草剤のグリフォサートに餌経由で曝露されたコガネグモの網張りは乱れる

Behavioural Ecotoxicology



活発・多彩な質疑応答でした



講演資料の一部を抜粋
させていただきました

痕跡程度のネオニコチノイド系殺虫剤のイマダクロプリドに曝露されたミツバチは早熟期に採餌行動を始めるが、仕事量は少ない。また、幼虫期に曝露されると成虫になってからの死亡率が上昇する。



無線自動識別
タグを装着
tracked with Radio
Frequency
Identification tags

■ 第13回 武庫川流域圏ネットワーク 総会

- 1号議案 : 山本義和 代表ほか (1) 2022年度 活動報告 (山本義和 代表)
(2) 活動案内のメール送信一覧 (白神理平 事務局長)
(3) HPでの情報発信 → <https://muko.jimdo.com/>
- 2号議案 : 白神理平 会計担当 (1) 2022年度 会計報告 (監査報告 栗野光一 会計監査担当)
- 3号議案 : 山本義和 代表 (1) 2023年度 予算案
(2) 2023年度 活動計画
- 4号議案 : 山本義和 代表 (1) 会則・運営委員変更 《役員及び運営委員》の変更
 - ・副代表 : 遠藤知二氏
 - ・新任 : 肥後淳三氏、北川哲郎氏
 - ・退任 : 小野正彦氏
 - ・退会団体 : さんだ景観人くらぶ

講演会と総会に59名という多数のご参加をいただき、
ありがとうございました。

写真右は、準備OKの武庫川流域圏ネットの
受付チーム

■ 環境学習都市にのみや・パートナーシッププログラム ■

